

- ・5月15日植えでは、育苗日数は19日間を目安に育苗計画を立てましょう。
- ・ハウスに搬出後は、換気を徹底し、がっちり苗に育てましょう。

1. 育苗管理（硬化期）

(1) 管理のポイント 晴天時は、搬出直後からでも、ハウス内の換気を行う。

温度の目安	昼は25℃以下となるよう積極的に換気し、夜は10℃以上を保つ。 荒天でない場合は、夜間もハウスを開け換気する。
かん水	かん水は、原則として朝に十分な量を散布する。 日中も表土が乾く場合は、軽くかん水する程度とする。
田植7日前から	夜もハウスのすそを開けて苗を外気に慣らす。

(2) 苗箱施薬 (JAからの購入苗は、施用済み)

- ・病害虫防除のため「ブーンレパード箱粒剤」(播種時覆土前～移植当日)50g/箱を施用する。
- ・密苗の場合は1kg/10aとなるように、50～100g/箱で調整する。
- ・施用済み苗箱を搬入した育苗ハウスでは、育苗後に野菜等の作付けは行わない。

2. 代かき・田植作業

(1) 丁寧な代かき作業と圃場の均平

- ・代かきから田植えまでの日数は、5日以内を目安とする。
- ・代かき時は、水量を少なめにして、稲ワラや雑草を確実にすき込む。

(2) 地力に応じた基肥量の施用

- ・栽培こよみを確認し、過剰な基肥施用は避ける。

代かきは浅水で行い、畦畔沿いに吹き寄せられた浮遊物を除去するなど、プラスチック製の圃場外への流出を防ぎましょう。

◎てんたかくの基肥 (L P s 早生専用特号の場合)

前作	減肥	土壌区分	基準施肥量
水稻あと	—	粘質土	30～35 kg/10a
		砂質土・壤質土	32～37 kg/10a
大豆あと 野菜あと	水稻あとの 35%減	粘質土	19～22 kg/10a
		砂質土・壤質土	21～24 kg/10a
大麦あと	水稻あとの 25%減	粘質土	22～25 kg/10a
		砂質土・壤質土	24～27 kg/10a

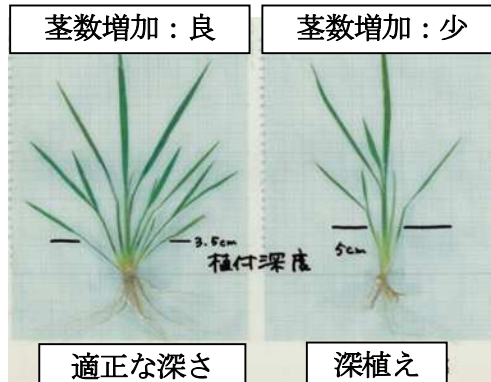
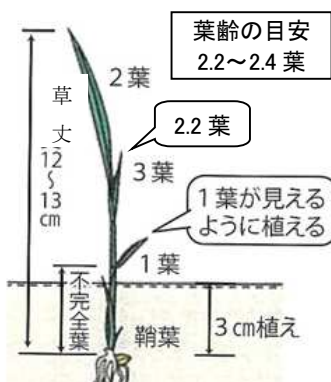
◎コシヒカリの基肥 (Jコートコシヒカリ2号の場合)

地域名	基準施肥量
新湊・・・作道・片口・七美・堀岡・海老江・本江 大門・大島・・・大島・浅井・榑田・水戸田・二口 下、小杉・・・大江・戸破・小杉・橋下条	28 kg/10a
新湊・・・新湊・塚原 大門・大島・・・浅井(一部)・榑田(山手)・水戸田(山手) 小杉・・・金山・池多・黒河	28～30 kg/10a

(3) 適正な田植作業の実施

- ・田植機の植付深さ、植付本数レバーの調整を確認して、的確に植付作業を行う。

[目安: 栽植密度 70 株/坪、植付深さ 3cm、植付本数 3～4 本/株]



☆☆ JA いみず野の公式LINEで
農業情報も発信しています。
下記QRコードから、
ぜひ登録してください。☆☆☆

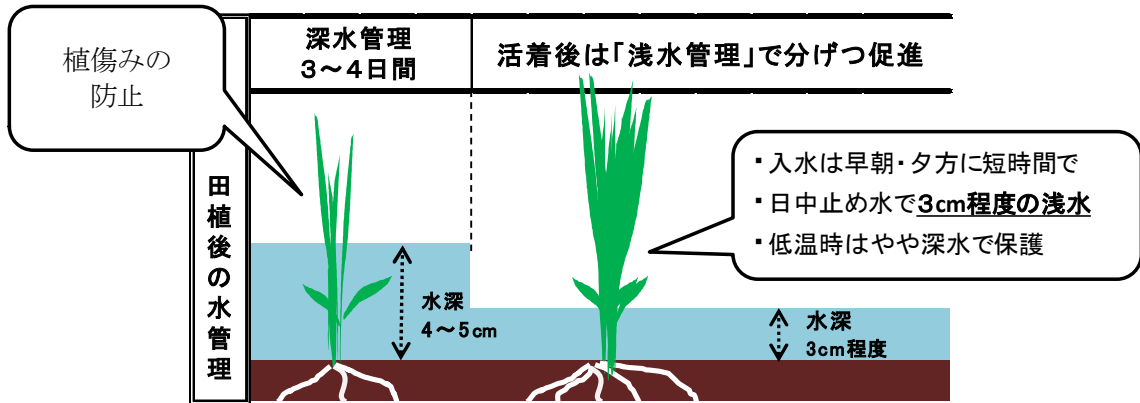


[田植時の稲姿の目安]

[植付深さを変えた稲の生育比較: 田植後17日目に調査]

(裏面に続く)

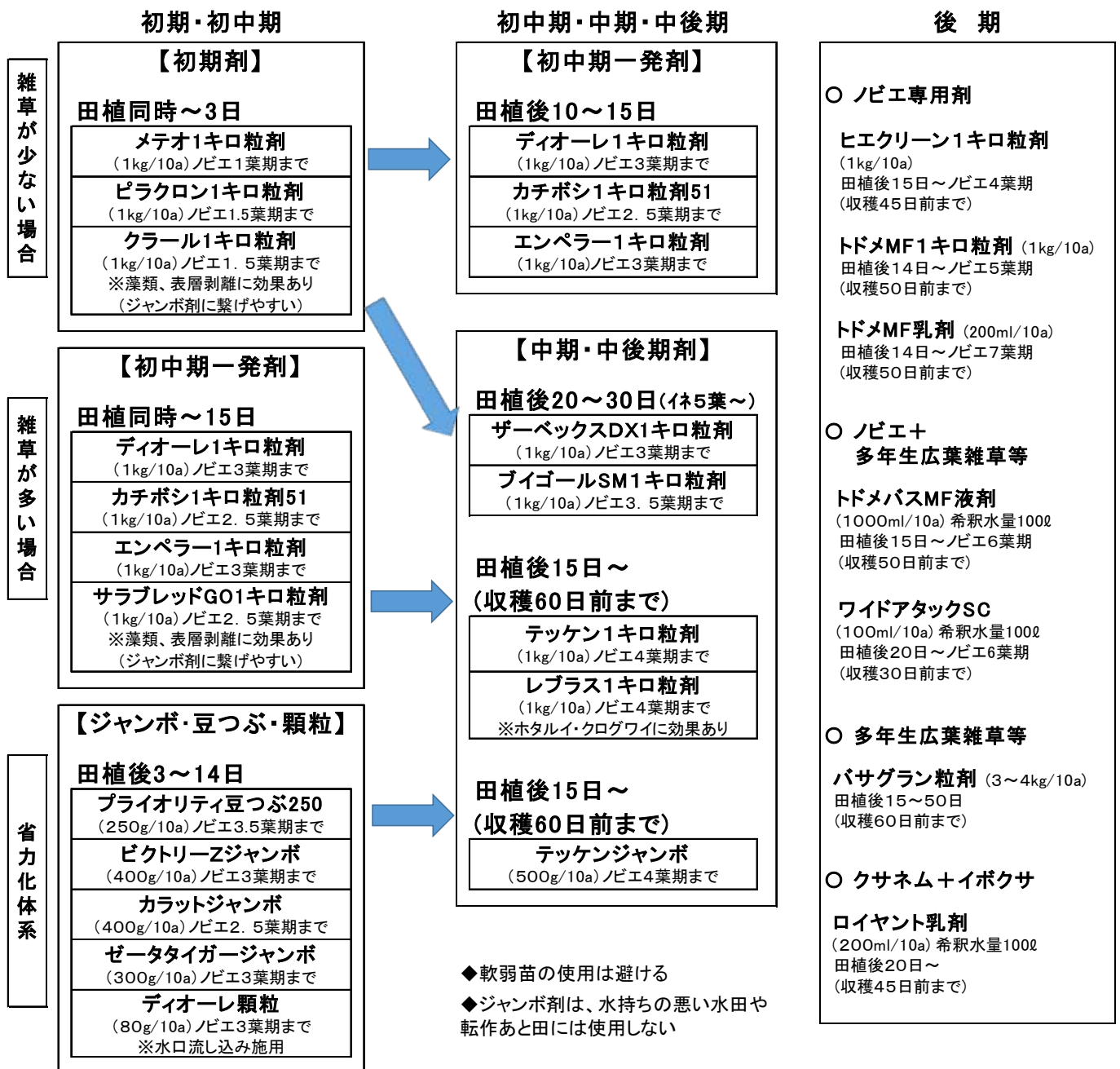
3. 田植後の水管理



4. 除草剤散布

- ・高温になると雑草の発生や生育が早まるため、除草剤は登録期間内の早めの時期に散布する。
- ・散布後5日間は5cm程度の湛水状態を保ち、落水やかけ流しをしない。

◎除草剤の体系



トラクター運転時は、シートベルト&安全フレームで安全ヨシ